

古賀総合病院 広報誌

フィオーレ

KOGETA

Vol.5



Topics

- ご挨拶 古賀総合病院 消化器外科 部長 谷口 正次
- 登録医の紹介 宮崎生協病院 院長 遠藤 豊 先生
- 院内ニュース 「地域医療支援協力病院懇談会」「ふれあい看護体験」など

古賀総合病院

消化器外科部長・地域医療連携室 副室長・がん治療センター長
医療安全管理 室長・クリニカルパス委員長

古賀在宅ケアセンター 施設長

谷口 正次



地域のニーズに応え続けるために

地球温暖化のためか、ゲリラ豪雨など聞き慣れなかった言葉が繰り返しテレビから流れるようになり、宮崎の亜熱帯化を懸念させられます。日本列島全体を見ると、今年は台風が、かつて台風銀座と呼ばれた宮崎を避けて直接東日本に上陸するものも多くありました。近年大きな災害が復旧できない内に新たな災害に見舞われて、常に災害復旧や支援の準備をしておく必要に迫られています。私たちを取り巻く環境はゆっくりとしかし確実に変化している様に感じます。

さて、2025年に向けて2014年度診療報酬改定で重点課題とされた病床機能分化・強化と連携、在宅医療の充実、2016年度改定でさらに進められて、急性期医療に対する要件も看護必要度と在宅復帰率で厳格化されました。各科各領域の専門医を擁し急性期病院として地域のニーズに応えてきた当院では、これまで同様に地域の患者さんや連携する病院医師の先生方の期待に応えるために急性期医療の維持に努めております。内科では内分泌代謝内科、血液内科、循環器内科、消化器内科、肝臓内科、腎臓内科を中心にベテランの専門医の診療が行われていますが、その指導の元で中堅若手の先生方の活躍が日々の診療でよく見られるようになり、次世代への期待を感じさせられます。また、外科でも昨年10月から三井記念病院で経験を積んだ5年目のレジデントの先生達に交代で勤務していただき刺激をもらっています。また、4月から新しい外科スタッフ高屋先生も入職されました。他に臨時で研修にこられる先生もおられ、外科でも若い力が充実しつつあります。外科医不足のため外来の新患紹介患者さんが曜日で偏ると午後手術開始時間に影響するため、急を要さない患者さんにつきましては地域医療連携室で受診を調整させていただいております。ご迷惑やご不自由をおかけしておりますが、若手外科医の増加に伴いより緊密な連携が取れるようになるものと考えております。産科婦人科では、少数精鋭で日々多数の患者さんの治療を担当しておりますが、若い先生も加わりしっかりした指導も行われています。泌尿器科も相変わらず多くの患者さんの診療を担当し、内視鏡治療や腹腔鏡下手術も多数実施していますが、医師の減少で紹介外来とさせていただき、ご不便をおかけしています。皮膚科は経験豊富な専門医3人体制で充実した診療を提供しています。整形外科、耳鼻科、眼科はベテランの専門医による診療を継続しております。放射線科では画像診断と同時に放射線治療も担当しています。精神科でもベテランの先生と若手の先生がうまく協働して患者さんの診療に当たっております。診療内容の詳細につきましては、ぜひ当院ホームページ <http://www.kgh.or.jp> をご覧下さい。

もう一つの重点課題、在宅医療の充実については、急性期病院には80%以上という高い在宅復帰率が課され、それを支えるための質の高い在宅医療、訪問看護が求められています。古賀総合病院で急性期医療を受けられた患者さんの在宅復帰支援では、地域の医療・介護施設や在宅医療支援診療所の先生方との連携で、大きく依頼させていただいております。訪問看護については、古賀総合病院の北側に隣接する古賀在宅ケアセンター（古賀訪問看護ステーション「あおぞら」と古賀ケアプランセンター）も在宅復帰された患者さんの看護やリハビリテーションを担当していますが、患者さんの居住地近くで往診を担当されている地域の先生方に訪問診療で大変お世話になっております。

当院ではこれからも地域医療支援病院として、地域医療に貢献し地域に必要とされる病院であり続けるために、職員皆が思いを一つにして努力してまいります。今後ともより一層の連携支援をよろしくお願い申し上げます。

宮崎生協病院

〒880-0824 宮崎市大島町天神前 1171 番地
TEL：0985-24-6877 / FAX：0985-29-4839
URL：http://m-seikyohp.com/

【診察時間】

(午前) 8：30～12：30 (午後) 15：00～17：30
(夜間) 17：30～20：00

【診療科目】

総合内科・外科・小児科・循環器内科・糖尿病内科
リハビリテーション科・呼吸器内科・消化器内科・
肛門外科・小児アレルギー科



宮崎生協病院は、今年40周年を迎えます。1976年和知川原の宮崎共立診療所（無床）から始まり、有床診療所、病院化、大島町への移転、120床化と徐々に大きくなってきました。現在、病床数：124床、一日外来：254名、救急車：653台/年（2015年度）内科、外科、小児科を有する地域の第一線の中小病院です。設立当初、地域の住民、労働者の方の自分たちの医療機関が欲しいという要求実現の運動から出発し、その運動を継承するために、1989年に宮崎医療生活協同組合を設立し、1992年に宮崎生協病院となりました。

法人としては、市内に3クリニック（このはな、大塚、和知川原）、延岡に1クリニック、訪問看護ST、訪問介護、居宅介護支援事業所、グループホーム、小規模多機能、デイサービス、高齢者住宅などの介護事業所を有しています。

病院の理念として、「地域の願いに応え、誰もが安心してかかれる病院」を掲げています。

基本方針は、①地域連携、②平等の医療（差額ベッドなし）、③安心の医療、④患者権利の遵守と医療における共同の営み、⑤職員育成、働きやすい職場づくり、⑥共同組織（医療生協組合員）、明るいまちづくり、⑦平和（戦争政策に反対）と社会保障の充実を求めることを努力しています。昨年は、第三者評価の医療機能評価（3rdG）、卒後臨床研修評価（JCEP）を受審し、認定、更新されました。また厚労省のQI（医療の質の評価・公表等推進）事業にも取り組み、質の改善に努めています。そして、格差社会、貧困の問題が増えるなかで経済的な問題で受療権が失われないように無料定額診療の事業などにも取り組んでいます。

古賀総合病院は、宮崎の中で数少ない民間の総合病院として専門的な医療を提供して頂き、頼りになる存在です。駅前にある時代から患者さんを紹介して診ていただいています。また、地域医療支援病院として、質を上げるための医療機能評価、ISOなどに取り組みされており、感染対策、看護学校設立など様々な新しい事業を展開されています。

医師の研修の面でも、宮崎の医師不足が深刻になる中、同時期に民間病院として管理型（基幹型）研修病院になり、協力病院としてお互いの研修医が病院を行き来するようになりました。また、後期研修のプライマリーケア連合学会のプログラムでも関連病院になっていただいています。以前より、ずいぶん顔の見える関係づくりがすすんだなと思います。

今後とも、古賀総合病院が地域医療支援病院として、益々、発展されることを期待しています。



8月24日(水) ホテルニューウェルシティ宮崎にて、「地域医療支援協力病院懇談会」を開催いたしました。院外から運営委員をはじめ協力病院(登録医)36施設55名・同心会職員69名、計124名の方に出席いただきました。

今村院長の挨拶に続き、地域医療連携室の谷口副室長より「地域医療支援病院としての取り組み」として2015年度の活動報告を行いました。特別講演として宮崎大学医学部附属病院長の鮫島浩先生をお招きして、「宮崎大学と地域医療連携構想」について、ご講演をいただきました。鮫島先生の丁寧なお話を拝聴し、一次・二次・三次医療の連携(役割分担)、また行政との連携、人材交流等の重要性を学び、地域医療支援病院としての重責を担っていることを再確認できました。

また、当院の診療科の紹介として内科医長の松浦良樹先生・眼科医長の齋藤真美先生から、それぞれの診療内容について説明がありました。

懇談会は、地域医療支援病院運営委員長の宮永省三先生(宮永内科クリニック院長)に乾杯の音頭を取っていただき、終始和やかな雰囲気の中で、院外の先生方と同心会職員間で積極的交流ができ懇談会を終えることができました。お忙しい中、ご講演をいただいた鮫島浩先生、ご出席をいただいた協力病院の先生方、ご協力ありがとうございました。

今後とも地域のニーズにお応えできる地域医療支援病院として、職員一同、より一層努力して参りたいと思います。



ふれあい看護体験

看護部

宮崎県内の高校生が看護や介護の仕事を体験する、ふれあい看護体験(県、県看護協会主催)が開催されました。

この事業は、医師や看護師、患者さんとの触れ合いを通じて看護への理解を深め、看護師を目指す生徒を増やそうと、1992年から始まり、今年度は69施設で、49校638人が参加しました。

古賀総合病院では7月26日に高校2年生、3年生の10名を受け入れました。白衣姿(女性はナースキャップも)の高校生たちは緊張しながらも笑顔で、看護師の指導を受けながら、患者の清拭、手足浴、洗髪の手伝いや、検査案内、患者とのコミュニケーションなどの看護体験を行いました。

体験終了後に「看護の道にますます進みたくなった」「患者さんの笑顔が見れたことが印象に残った」「やりがいのある仕事だということが伝わった」「産まれて間もない赤ちゃんを抱っこして生命を感じた」などの意見が聞かれました。看護職のやりがい、コミュニケーション能力の大切さを体験でき、将来の進路の参考になったと思います。

今年度はこの受け入れを「ふれあい看護体験プロジェクト」として、看護部中堅研修の一環で実施しました。プロジェクトメンバー8名でパンフレットの作成等の準備、当日運営、実際の体験場面の援助、院内見学、記念品として集合写真を渡したりと、よい経験をしてもらえよう心をつくして実施し、メンバーにとっても学びある経験になりました。

ご協力していただいた皆様、ありがとうございました。

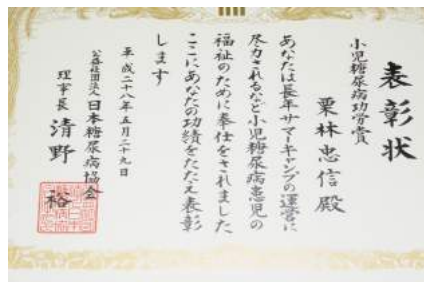


ヤングフェニックスはまゆう会は、宮崎県における小児糖尿病（1型）の患者会で、事務局が社会医療法人同心会 古賀総合病院内にあります。

今年は8月3日（水）～8月7日（日）の日程で開催し、17名のキャンパーが参加しました。このキャンプは、幼児から高校3年生までの1型糖尿病患者を対象としており、1型糖尿病を正しく理解し、知識・技術を身につけるとともに、よりよいコントロールができるようになり、自立していくことを主な目的としています。これまでも多くのキャンパーが巣立って行きました。同じ1型糖尿病の仲間（キャンプを卒業したOB・OGも参加）や医療従事者と数日を共に生活することによって、インスリン自己注射や自己血糖測定の手技を習得し、普段と異なる環境でも、適切な血糖コントロールやトラブルへの対処方法を身につける力を育てます。

このサマーキャンプは全国各県で行われており、宮崎県では1979年に第1回が開催され、今年で第38回目の開催となりました。天候にも恵まれ、計画の変更をすることもなく、全てのイベントをおこなうことができました。宮崎市の相馬歯科医院 相馬博先生を講師にお招きし、糖尿病と関わりが深い「口腔ケアの講習・個人指導」が行われ、患者さんや患者さんのご家族も興味を持たれているようでした。また、最終日に毎年開催している講演会では今年4月の熊本地震より、宮崎大学医学部病態解析医学救急・災害医学講座 落合秀信先生に東日本大震災の講演をしていただき、地震に対する備えの重要性を学ぶことができました。

また、キャンプの第1回より参加されている会長 栗林忠信先生が、長年1型小児糖尿病サマーキャンプに貢献し続けて来られたことが評価され、日本糖尿病協会より功労賞・宮崎県糖尿病協会より杉山悟賞を受賞されました。



（仮称）フィオーレKOGA看護専門学校の進捗

看護専門学校開校準備室

看護専門学校開校準備室は、2017年4月フィオーレKOGA看護専門学校開校に向けて募集パンフレットを作成し、5月～6月にかけて県内の全高校（50校）を訪問し進路担当の先生に説明に伺いました。

7月17日には県立看護大学において看護協会主催の「看護進路相談会」が開催され、看護学校紹介（9校）と個別相談にはじめて参加をさせていただきました。また、7月27日の大安吉日には校舎の起工式（来年3月完成予定）が行われました。7月30日・8月6日には「古賀駅前クリニック」において当校の「学校説明会」を開催。不安もありましたが予想以上の生徒さん、保護者の皆様の参加があり、気持ちを新たにいたしました。

7月1日宮崎県庁の文化文教課・医療業務課に「養成所指定申請書」を提出。近々実地調査の予定です。現在、10月11日の推薦と社会人入学試験に向けてチーム一丸となって頑張っています。今後ともご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

推薦・社会人入学試験

10.11 (Tue)

《会場》
KITENビル 8階

《出願期間》
平成28年9月26日～10月4日

一般入学試験（1期）

1.27 (Fri)

《会場》
JA・AZMホール 本館

《出願期間》
平成29年1月10日～1月18日

詳しくは、
携帯・スマートフォンを
かざしてください♪

理念

「患者さんやご家族に納得していただける医療・介護・福祉サービスを継続して提供します」

基本方針

1. 質の高いリスクマネジメントの構築
2. 設備・環境の改善
3. 職員の資質向上（人材育成）
4. チーム医療の推進
5. 相手の立場に立った目配り・気配り
6. 健全な経営管理

研修会等のご案内

< 今後の研修予定 >

□2017年1月20日（金） 第3回循環器連携の会

□2017年1月22日（土）・23日（日） 2016年度宮崎県第6回 緩和ケア研修会

* 申込・問合せ：地域医療連携室までご連絡ください（電話・FAX・メール いずれでも可）

* 直通電話（0985-39-8952） 直通FAX（0985-39-0372） E-mail : kgh-renkei@kgh.or.jp

* 地域医療連携室の受付時間 平日：8時30分～17時00分

< 連携室からのお知らせ >

◎外科・泌尿器科の予約は、患者様からの電話予約でも可能です。

関連施設



□看護専門学校開校準備室（古賀総合病院内）
TEL 0985-39-8286

介護老人保健施設「春草苑」
〒880-0041 宮崎市池内町数太木 1749-1
TEL 0985-39-8899 FAX 0985-39-8978

フィオーレ古賀
〒880-0812 宮崎市高千穂通 2-7-14
1F 古賀駅前クリニック
TEL 0985-22-2111 FAX 0985-23-9598
鍼灸院「フィオーレ」
TEL 0985-22-8950

2F 古賀駅前クリニック古賀健診
TEL 0985-22-2112 FAX 0985-32-0317
3F 疾病予防のための有酸素運動施設
「メディカルフィットネスフィオーレ」
TEL 0985-22-2113 FAX 0985-22-2791

古賀在宅ケアセンター
〒880-0041 宮崎市池内町数太木 1763-3

□古賀訪問看護ステーション「あおぞら」
TEL 0985-39-8127 FAX 0985-39-9160
□居宅介護支援事業所「古賀ケアプランセンター」
TEL 0985-39-9150 FAX 0985-39-9160

発行元：古賀総合病院 広報チーム 2016年10月発行
〒880-0041 宮崎県宮崎市池内町数太木 1749-1
TEL 0985-39-8888 FAX 0985-39-0067 E-mail info@kgh.or.jp